

3.8国際女性デー 映画上映会

女性のエンパワーメント

「映画鑑賞」で共感の輪を広げよう



映画「われ弱ければ 矢嶋楯子伝」
かじこ

これからの女性は、使命を持って生きてください。

使命とは、命を使うことです。

自分の命は、自分で使うのです。

矢嶋楯子

参加費
無料

2026年 3/8 (日)

【会場】群馬県社会福祉総合センター 大ホール

国際女性デー(3月8日)は、1857年のニューヨークの被服工場火災をきっかけに、女性たちが低賃金・長時間労働へ抗議した運動に由来するとされています。1908年には「パンとバラ」を掲げた女性労働者のデモが行われ、以後この日は女性の政治的自由と平等を求める記念日として、世界中で象徴的な行動が続けられています。



主催 連合群馬 〒379-2166 前橋市野中町361-2 群馬県勤労福祉センター内 ☎027-263-0555

【後援】群馬県・群馬労働局・群馬県社会福祉協議会・群馬県教職員組合



禁酒・廃娯・一夫一妻制・新しい女子教育…
江戸後期から大正まで生き抜き、
一途に女性の地位向上を目指した生涯

われ弱ければ 矢嶋楯子伝

あらすじ

1833年、男女で洗濯のたらいさえ分けるなど男尊女卑の社会の中、現在の熊本県に矢嶋楯子は生まれました。

25歳で結婚した武士の夫は酒乱で、赤ん坊に小刀を投げつけるなど暴力が絶えず、楯子は末子を連れて家出し、離縁状を突きつけます。

離縁後に上京して小学校教師となり、アメリカ人のミセス・ツルーに勧められて女学校の校長となりました。

のちに現在も続く女子学院の院長を務め、一夫一婦制、婦人参政権、禁酒、廃娯運動など多くの社会活動に関わります。晩年にはアメリカで世界平和を訴えました。

女性が尊重されなかった時代に女子教育と女性解放運動に生涯を捧げた、矢嶋楯子の生涯を描きます。

原作 三浦綾子「われ弱ければ―矢嶋楯子伝」(小学館)

監督 山田火砂子

常盤貴子 石黒賢 渡辺いっけい キャロリン愛子ホーランド

渡辺大 藤吉久美子 竹下景子 ほか



©現代ぶろだくしょん

映画鑑賞・お申込みについて



日時 2026年3月8日(日)10:00～12:00(9:30受付開始)

会場 群馬県社会福祉総合センター 大ホール
〒371-0843 群馬県前橋市新前橋町13-12

駐車場が限られているため、乗り合いや公共交通機関でお越しください。近隣の有料駐車場をご利用された場合は、ご自身で負担をお願いします。

一般申込みの皆様

右の二次元コードより
お申込みをお願いします。
(定員になり次第締め切ります。)



▲参加お申込み▲

当日受付にて、お申込み後に返信された
メール画面をご提示ください。

キャンセルは返信メール内の「回答を編集」から変更できます。

構成組織〈労働組合〉の皆様

労働組合を通じて
お申込みをお願いします。

当日は、受付にてお名前をお伝えください。

お問い合わせ

連合群馬

〒379-2166 前橋市野中町361-2 群馬県勤労福祉センター内

☎027-263-0555

(平日9:00～17:00)